

7 章 学習のまとめ

この章で学習した内容をふり返ってみましょう。

四分位数

▶ p.210

データを小さい順に並べて4等分したとき、そのときの3つの区切りの値を **四分位数** といい、小さいほうから順に、第1四分位数、第2四分位数、第3四分位数という。第2四分位数は、中央値のことである。

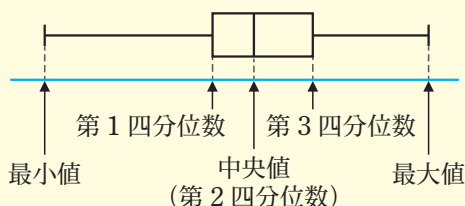
四分位数は、次のように求める。

- ① 小さい順に並べたデータを半分に分ける。
ただし、データの個数が奇数のときは、半分には分けられないので、中央値を除いてデータを2つに分ける。
- ② ①で分けた小さいほうの半分のデータの中央値を第1四分位数、大きいほうの半分のデータの中央値を第3四分位数とする。

箱ひげ図

▶ p.210

最小値、最大値、四分位数を使ってかいた図を **箱ひげ図** という。



四分位範囲

▶ p.212

第3四分位数から第1四分位数をひいた値を **四分位範囲** という。

$$(\text{四分位範囲}) = (\text{第3四分位数}) - (\text{第1四分位数})$$

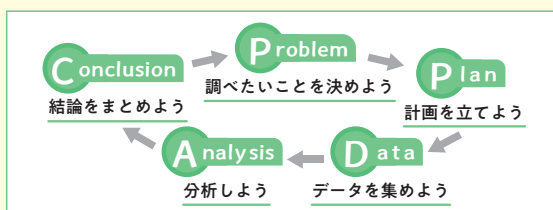
データの活用

▶ p.216

調べたいことを決める

- ⇒ **計画** を立てる
- ⇒ **データ** を集める
- ⇒ **分析** する
- ⇒ **結論** をまとめる
- ⇒ 結論、調査や発表のしかたをふり返る

PPDAC サイクル



7章で見つけた **!** をふり返って、学習感想をまとめてみましょう。

- わかったことやよかったこと
- 大切だと感じたことや気づいたこと
- さらに学習してみたいこと など

散らばりの程度を表す値として、すでに知っている範囲のほかに新たに四分位範囲を知ることができてよかった。

箱ひげ図を学習したことで、データの散らばりの程度をわかりやすくとらえることができてよかった。

箱ひげ図を利用すると、複数のデータの散らばりの程度を比べるのに便利だった。

身のまわりのことがらについて、ほかにもデータを集めて調べてみたい。

